

Course number		U-LAS22 20001 SO48						
Course title (and course title in English)	フランス語II A F2105 Intermediate French A				Instructor's name, job title, and department of affiliation	Part-time Lecturer,NISHIMOTO NOA		
Group	Languages			Field(Classification)				
Language of instruction	Japanese			Old group	Group C		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods	Tue.4		Target year	2nd year students or above		Eligible students		For all majors

### [Overview and purpose of the course]

#### <フランス語圏の文化と生活>

本講義では、初級文法を終えた受講生を対象とし、主に音声（調音音声学的観点からフランス語に出て来る音の発音の仕方）の再確認、教科書の購読と10分弱のフランス語の映像資料を通じた聞き取りと語彙力の向上、フランス語およびフランス語圏に関する理解と広い視野を培うことを目的とする。

授業では講師の専門領域・研究分野を随時取り上げ、フランス語およびフランス語圏の社会と文化を理解するために次の3点を題材として取り上げる。

- (1) フランス語圏（アフリカ、仏領ポリネシア、マヨット、仏領ギアナ等）の文化・社会
- (2) 毎回フランス語、フランス文化に限らず、議題（例：「偶然とは何か」「我々は何を日常的に数えているのか」「時間の矢」など）を設け、次週にフィードバックを行う。
- (3) 言語を通じて人間の価値観の多様性と普遍性について考える。

(1)(2)(3)は平易なフランス語資料を授業で随時配布し、毎回の授業時間の約2割を費やす。これらに関する事前の予備知識は特に必要としない。

### [Course objectives]

講義を通じて、外国語・語学としての実用的なフランス語のみならず、学術的視点からのフランス語研究・フランス語圏文化研究入門となることを目標とする。

具体的には、「なぜこのような文法事項があるのであろうか」という素朴な問いに向き合いながら、言語とは何か、ひいては、人間とは何かという問いについて考察する。授業ではできるかぎり、文法解説を行うが、動画資料と購読教材で時間を押すため、各自初級文法で習った際の教科書を持参すること。

\* 議題やその日の感想・コメントシートを出席点とし、コメントや質問は次週にフィードバックする（個々のコメントに関しては成績に左右しない）

### [Course schedule and contents]

大まかなスケジュールは下記の通り。主に教科書に沿って授業を行う。文法項目はその都度解説する。初級文法で使った教科書を持参すること。

1回の授業の構成は、受講生からの質問・コメントのフィードバック、授業ごとのトピック・問題提起、教科書および文法解説である。

Continue to フランス語II A F2105(2)

## フランス語II A F2105(2)

- 1) オリエンテーション、各自フランス語で自己紹介、フランス語が話されている地域、講師のフランス語圏（タヒチ、モーリシャスなど）の現地調査体験談、  
「なぜ男性と女性の区別があるのだろうか？」疑問詞、前置詞の復習
- 2) 世界のフランス語圏、フランス本土以外のフランス語圏を知る  
主語人称代名詞、基本動詞の活用、形容詞
- 3) 世界の国々の国語、公用語、憲法を見てみよう  
『うっかりペネロペ』（映像資料）、中性代名詞、フランス語の音声、言語の発音の経済性
- 4) 欧州のフランス語圏、不規則動詞の活用、定冠詞、不定冠詞、部分冠詞
- 5) カナダやルイジアナのフランス語圏、比較級、「偶然って何？」
- 6) 中米のフランス語圏、講師の中米滞在の体験談  
「生物と非生物の区別」補語人称代名詞、代名動詞
- 7) マダガスカル島のフランス語圏、講師のマダガスカルでの学術調査、モロッコでの滞在体験談、「ヒトはどうして過去や未来について考えるのか」近接未来、近接過去
- 8) アフリカのフランス語圏、フランス語圏アフリカ諸国の食文化、生物遺伝資源問題、複合過去、半過去、直説法単純未来
- 9) 太平洋、オセアニアのフランス語圏、仏領ポリネシアの映像資料「科学の対象としての言語」  
所有形容詞、現在分詞
- 10) 太平洋、オセアニアのフランス語圏、ニューカレドニア、バヌアツ共和国  
「ピジン、クレオールとは？」
- 11) オペラ、歌劇、歌曲を享受する、条件法「無限と有限」
- 12) フランス語圏のポピュラー音楽、日本アニメのフランス語版映像を聞き取る、  
フランス語の発音、縮約形、冠詞の復習、動詞の活用と発音
- 13) 接続法、感情表現
- 14) 語学と言語学の違い、フランス語を通じて見る世界の諸言語、教科書全般で残った文法箇所の補充
- 15) フィードバック

### [Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

### [Evaluation methods and policy]

平常点40%

レポート40%

小テスト20%（リスニングテスト）

### [Textbooks]

Sachiko Komatsu 『Destination Francophonie フランコフォニーへの旅』（駿河台出版社）ISBN: 978441100972

### [References, etc.]

（References, etc.）

フランス語初級文法を忘れていたり、発音に自信がないことは問題ない。

しかし、授業中におこなう（全員で）シャドーイングは必ず積極的に発音し、教科書にイントネーションや、リエゾン、自分にとって発音が曖昧であった箇所をメモすること。

Continue to フランス語II A F2105(3)

フランス語II A F2105(3)

---

**[Study outside of class (preparation and review)]**

教科書の音声は無料でダウンロードできるので、各自必ず端末にダウンロードしておくこと。また、事前に単語を調べ、ある程度訳しておくこと。

**[Other information (office hours, etc.)]**

**[Essential courses]**